

第 69 回総会研究集会

テーマ:大学図書館の新しいあり方

1. 趣旨

情報通信技術(ICT)の進展によって大学の教育・研究は大きな変容を遂げた。コロナ禍を契機としてオンラインコミュニケーションが日常のものとして定着している。

従来の大学図書館の事業・サービスは、その多くが紙媒体による出版と来館型の対面サービスを前提として設計されており、この変容に十分に対応できていない。ICTの活用等の工夫により定型的業務・旧来的業務を省力化し、より革新的な事業に人的リソースを振り向けていくことも重要である。

本研究集会では、教育・研究活動の変容を概観し、大学図書館の新しいあり方について意見交換したい。

2. 運営担当者

進行: 小陳左和子 (東北大学附属図書館事務部長)

記録: 佐藤初美 (東北大学附属図書館総務課長)

山中節子 (京都大学附属図書館図書館企画課長)

3. 内容

(1) 趣旨説明 (5分)

鈴木雅子 (神戸大学附属図書館事務部長)

(2) 話題提供:教育・研究活動の変化と図書館 (60分)

江頭進 (小樽商科大学附属図書館長. 理論経済学・経済史)

大隅典子 (東北大学附属図書館長. 発生生物学・分子神経科学・神経発生学)

山田明 (東京工業大学附属図書館長. 半導体物性)

大藪千穂 (岐阜大学図書館長. 家政学・家庭経済学)

(3) 話題提供:協会会員館のさまざまな取り組み (10分)

阿藤品治夫 (茨城大学研究・社会連携部学術情報課長・システム委員会)

(4) 全体ディスカッション (40分)

ファシリテーター 尾上孝雄 (大阪大学附属図書館長. 応用集積システム)

(5) まとめ (5分)